

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科合着用ガラスポリアルケノエート系レジンセメント（70841002）
（歯科用練成器具（70682000））

オルソリー バンドペースト

再使用禁止：オルソリー ミキシングチップSL *

【禁忌・禁止】

- ・ガラスアイオノマーセメント、メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー、ポリアクリル酸に対して発疹、皮膚炎などの過敏症状の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・再使用禁止 オルソリー ミキシングチップSL *
- ・併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

形状・構造

構成品	性状	容器	組成
バンドペーストカートリッジ	Aペースト	カートリッジ	フルオロアルミノシリケートガラス、メタクリル酸エステル
	Bペースト	カートリッジ	ポリアクリル酸、二酸化ケイ素、蒸留水

原理 *

バンドペーストカートリッジを構成するAペーストとBペーストはオルソリー ミキシングチップSL内のミキシングエレメント（攪拌羽）により練和され、可視光線エネルギーによる光重合反応、メタクリレート系モノマーの化学重合及びフルオロアルミノシリケートガラスとポリカルボン酸水溶液との酸-塩基反応により硬化する。

特性

項目	品目仕様	参考値
初期硬化時間	3分00秒以上	5分30秒
光硬化深度	1mm以上	1.6mm

（JIS T 6609-2による）

【使用目的又は効果】

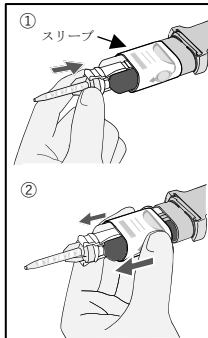
歯科矯正用装置（バンド冠）と歯質の合着に使用する。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- 1) サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、歯質と十分な接着力が得られない場合があるので、留意して使用すること。

【使用方法等】

- 1) 歯面清掃：通法に従い歯面を清掃し、乾燥します。
- 2) CDディスペンサーにバンドペーストカートリッジを装着します。キャップ取り外し後、両シリンジからペーストを少量押し出してすり切り、両シリンジのペースト位置を合わせます。
- 3) オルソリー ミキシングチップSLをカートリッジに最後まで押し込み（右図①）、スリーブの側面を持ち、前方にスライドさせて（右図②）オルソリー ミキシングチップSLを装着します。CDディスペンサーのストッパーをレバー根元に設置してからレバーをゆっくり押し、オルソリー ミキシングチップSL内にペーストを通して練和します。練和されたセメントペーストを、歯科矯正用装置（バンド冠など）の内面に塗布します。操作時間は、練和開始時より約3分00秒です。この際、はみ出した余剰セメントは、綿球などにより除去します。*



- 4) 光重合：可視光線照射器により照射し、重合します。コービー^{※1}を使用する場合は20秒間の照射、G-ライト^{※2}を使用する場合は10秒間の照射、フリッポ^{※3}を使用する場合は6秒間の照射を行います。セメントに十分な光照射ができない場合には、約4分30秒間 口腔内保持します。

※1 コービー：ハロゲンランプを採用した歯科用可視光線照射器

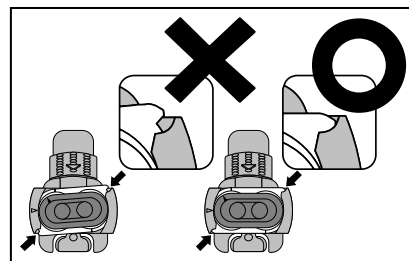
※2 G-ライト：LEDを採用した歯科用可視光線照射器、ただし、LED採用他社製歯科用可視光線照射器を使用する場合は、光照射能力が異なる場合があることから、使用する光照射器の照射能力を確認の上使用します。

※3 フリッポ：キセノンランプを採用した歯科用可視光線照射器

- 5) ディバンディング：除去は、通法に従い行います。歯面に残るセメントに関しては、超音波スケーラーやポイントを用いて除去します。

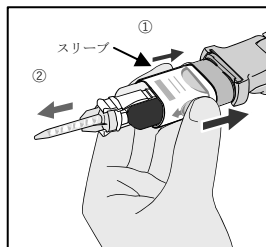
【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 本材は、常温（15～25℃）での使用を基本とすること。室温が高くなると操作余裕時間は短く、また室温が低いと長くなるので注意すること。[本材の硬化反応は温度の影響を受けるため]
- 2) 初めて、あるいは期間をおいてご使用になるバンドペーストカートリッジは、ノズル先端に空気が内在する場合がありますので、最初の1回目の押し出しで左右のペーストの先端を合わせる。[正しく計量できないため]
- 3) 无影灯の光により操作余裕時間が短くなるので、歯科矯正用装置装着の際は、必要に応じて无影灯を減光する、または消すこと。
- 4) 硬化状態は可視光線照射器の照射能力に依存するので、ランプの劣化、ファイバーロッドの汚れに注意すること。
- 5) エアーシリンジ等を使用して歯面の乾燥を行う場合には、事前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。[接着阻害物質により接着力が低下するため]
- 6) バンドペーストカートリッジ使用時は、カートリッジをCDディスペンサーに装着し、リリースレバーの付け根部分を止まるまで押し込む際、ペーストがノズルから出る場合がありますので、キャップは外さずに行うこと。
- 7) バンドペーストカートリッジ使用時は、適切な比率でペーストを採取するために、カートリッジは確実にCDディスペンサーに装着すること。またカートリッジは、最後まで回しきったことを確認すること。



- 8) 練和されたセメントペーストの硬化性に影響することから、オルソリー ミキシングチップSL装着前にすり切り操作を行うなどして、両シリンジのペースト位置合わせを行うこと。すり切り操作時は、CDディスペンサーのレバーを戻してしまうと、押し出されたペーストがカートリッジ内部に引き戻されてしまうので、レバーを押ししたままの状態ですり切ること。*

- 9) 押し出し操作中のオルソリー ミキシングチップSL脱落防止のため、オルソリー ミキシングチップSLは確実に装着すること。またオルソリー ミキシングチップSL装着時は、接合部に手指を挟まないよう注意すること。*
- 10) セメントペーストを急激に押し出すと、オルソリー ミキシングチップSLが脱落する恐れがあるので、押し出し操作はゆっくり行うこと。*
- 11) オルソリー ミキシングチップSLから最初に押し出されるペーストは、片側のペーストが先行して押し出されてくる恐れがあるので、少量練和紙等に取り除いてから使用すること。*
- 12) オルソリー ミキシングチップSLは、無理な力や角度で装着、取り外しを行わないこと。スリーブを後方にスライドさせてから(右図①)、オルソリー ミキシングチップSLを取り外すこと(右図②)。
- 13) バンドペーストカートリッジの着脱は、プッシュボールが完全にディスペンサー内部に戻っていることを確かめてから行うこと。[ディスペンサーを破損する可能性があるため]
- 14) 光強度の弱い照射器を使用した場合、十分な硬化が得られないことがあるので、光強度の強い照射器を使用すること。



【保管方法及び有効期間等】

〔保管方法〕

- ・直射日光、高温多湿を避けて、室温で保管する。
- ・オルソリー ミキシングチップSLを装着したまま保管せず、必ずキャップを装着して保管する。*
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

〔有効期限〕

本材は、包装に記載の使用期限*までに使用する。

※(例 EXP. 2022-02 は
使用期限2022年 2月 を示す。)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシー
主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシーオルソリー
住所 : 〒174-8585
東京都板橋区蓮沼町76番1号
電話番号 : (お客様窓口) 0120-108-171

【使用上の注意】

- 1) 使用注意(次の患者には慎重に適用すること)
- ①薬剤、食品、アクセサリー、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
- ①本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起したときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
- ②本材の未硬化物は、直接素手で触れないこと。未硬化物に触れる場合は、接触による過敏症を防ぐために、プラスチック手袋、ゴム手袋等を着用すること。
- ③本材または練和物が、口腔粘膜、皮膚などに付着しないよう充分注意すること。ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること(ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします)。口腔粘膜に付着した場合にはすぐに綿球で拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。また皮膚に付着した場合には、すぐに流水で洗浄すること。万一目に入った時は、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。
- ④光照射の際は保護眼鏡などを使用し、照射光を直視しないこと。[目を痛める恐れがあるため]
- ⑤本材を使用した硬化物の除去作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が許可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
- ⑥本材は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑦本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ⑧セメントが衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
- ⑨本材の使用により発疹などの過敏症状を起した患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
- ⑩他の製品と混用しないこと。[本材の特性が得られないため]
- ⑪バンドペーストカートリッジは、オルソリー ミキシングチップSL装着のまま放置せず、使用後はすぐに確実にキャップをすること。*
- ⑫正しい計量のために、バンドペーストカートリッジのノズルにペーストが付着した場合は、ガーゼなどで拭き取ること。
- 3) 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)
- (1) [併用禁忌](併用しないこと)
- ①ユージノール系製剤は、本材の硬化・接着を阻害する可能性があるため併用しないこと。